

えほんのおへや通信



2011年8月1日(月)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

猛暑、節電、熱中症などと心なしか不安な夏、セミの声が少ないのは、もう一年待とうと地中でセミノコ君が思案しているのかもしれませんが。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」8月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「まなちゃんのいす」

長野ヒデ子作

まなちゃんは小さな木の椅子をつくってもらいましたが、おばあちゃんの膝の椅子、お父さん椅子も好きです。お兄ちゃん椅子に座ったり、ネコちゃん椅子にも座ったり、お母さん椅子にと思ったら……。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「ほんやのおじさん」

ねじめ正一文 / 南伸坊絵

近所の本屋のおじさんは、いつも僕にちょっかいをかけてくる。僕が動物の絵本を読んでいると、サルみたいに柱を登ったり、クジラみたいにやかんの水を口から吹いたり、ついにはクマみたいに本に囲まれて冬眠……！



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「カボチャばたけのはたねずみ」

木村晃彦作

ハタネズミの家族は、畑に実ったカボチャの実を家にすることにしました。立派な家が完成して、カボチャのケーキを焼いてお祝いをしようとしたとき、……。



こどものとも

5～6歳向き

「さるおどり」

降矢なな 文 / アンヴィル奈宝子 絵

夏祭りのお囃子の練習に行くお父さんについていったけんたは、踊りの師匠から「さるおどり」の役をもらいました。なかなかうまく踊れないけんたが、ひとり森のそばで練習をしていると、……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「よるのおきやくさま」

加藤幸子 文 / 堀川理万子 絵

電車と新幹線とバスに乗って、たどり着いたおばあちゃんの家。おばあちゃんは一人暮らしですが、猫もいるし、夜になるとおきやくさまがたくさん来るからさびしくないといいます。夜、窓の明かりに集まってきたのは、…。



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「りんごくんがね…」

とよた かずひこ さく・え

よあけまえ、木からとびおりたりんごくん。にんじゃすがたで、すたすたすた……いそいでいます。うさぎにおわれ、カラスにつかまっても……「しんぱい ごむよう！」。

2歳から



童

童心社

「むしのかお」

新開 孝 【写真・文】

いろんな顔の虫たちにあいはいこう！草原や雑木林で小さな虫にであつたらいつもより少し小さくなって「こんにちは」っていってみよう。そうしたら、虫たちの顔を見ることがきっとできる。大きなあご、大きな目。不思議な虫たちの顔を見てみよう。

5歳から



ポプラ社

【雑感】

昆虫は光の向きに対して一定の角度を保って飛ぶ性質があるそうです。月や星などの自然の薄明りは、地球に届く光の向きは同じなので、昆虫が飛んでいてもあまり影響を受けません。



では、人工の光はどうでしょう。光は光源から放射状に広がります。その放射状に広がる光に対して昆虫が一定の角度を保って飛ぶとどうなるのでしょうか。飛ぶほどに角度が変化し、渦を巻き、最終的には光源に到達してしまいます。昆虫にとって光は何か得るものがあるのではないのですね。「飛んで火に入る…」という諺、現代科学で解明すると違った意味合いになります。

(年齢は目安です。)

